

令和3年度

第3回 北広島市旧島松駅通所整備基本計画検討委員会 議事録

日時 令和4年3月17日(木) 午後6時00分から
場所 北広島市エコミュージアムセンター2階 研修室

◎出席者

- 委員
北海道大学名誉教授：角幸博、北海道大学名誉教授：平井卓郎、
札幌市立大学准教授：森朋子、北海道博物館学芸員：圓谷昂史、
北海道埋蔵文化財センター：藤井浩
- オブザーバー
北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課：赤井文人
北広島市役所企画財政部企画課長：佐藤直人
北広島市役所経済部観光振興課長：橋本征紀
北広島市役所建設部建築課長：松崎隆志
- 事務局
教育部長：千葉直樹
エコミュージアムセンター長：丸毛直樹、主査：畠誠、主任：記内瑞穂
コンサルタント会社：(株)KITABA 神長、窪田、百瀬
北電総合設計(株) 大日向 (株)文化財保存計画協会

1 開 会

2 座長あいさつ

角委員長

- ・ 年度末の忙しいところ、お集まりいただきありがたい。
- ・ 昨夜は地震が起きるなどあり、蔓延防止措置も21日に一応解除する予定ですが、まだまだ落ち着いていないなという雰囲気である。
- ・ そんな中、他の委員会は全てzoomだが、本日皆さんと対面で実施できることを大変嬉しく思う。
- ・ 本日は、耐震診断業務のご報告、委員会のご意見の反映、パブリックコメント、メインとなる整備基本計画の案についてご説明し、みなさまからご意見をいただきたい。
- ・ 最終回ということで、コロナのこともあるので、できるだけ短時間で実施していきたい。
- ・ より良い計画になるように、活発なご議論をお願いする。

3 議事

【報告】

(1) 史跡旧島松駅通所耐震診断調査業務委託報告書(抜粋) 資料-1

(2) 前回委員会の議事概要及び指導事項と対応 資料-2

(3) パブリックコメントについて 資料-3

北電総合設計(株)

- ・ 資料1について説明

森委員

- ・ 資料のP43について、下見板張りなど外壁は取り外して同じものをもとにもどすのか。

北電総合設計(株)

- ・ 基本的にはそう考えている。部分的に腐朽している部分については交換する箇所もある。

森委員

- ・ 交換しなければ見た目としては今とあまり変わらないということ。それであれば良い

角委員長

- ・ 実施設計で詳細は今後の検討となるが、冬場は閉めるという条件で診断をしているとご理解いただけたらと思う。

(株)KITABA

- ・ 資料2について説明

平井委員

- ・ 事業スケジュールについて、今回の改修は、なかなか計画通りにはいかないと思われる。現場を始めてみると、設計変更はたくさん出てくるだろう。それが出てくると想定をしておいた方がいい。
- ・ また、現場で進めていくにあたって、毎回、委員会で確認するのも難しいので、業者さんと北広島市さんと相談しながら、そのような事態に臨機応変に対応できるように注意してほしい。

北広島市教育委員会

- ・ 部材が高騰している、人件費が高騰しているのも伺っており、耐震工事の関係もなかなかスムーズにいかないだろうというのも想定している。
- ・ 我々、推進計画を持っており、その中で毎年見直していくことを考えているので、1年実施する中で、早め早めに進捗を確認し微調整をしながら慎重に進めていきたいと思っている。
- ・ ご意見は十分に参考にさせていただきながら、進めさせていただきたい。
- ・ 資料3について説明

角委員長

- ・ パブリックコメントは2件あり、いずれも、この計画を後押ししてくれる意見だったと思う。
- ・ お土産品と書いてあるが、ここでしか手に入らない、上質なグッズを考えてほしいということだと思

うので、そのあたりも含めて検討していただきたいと思う。

【議案】

(1) 史跡旧島松駅通所整備基本計画(案)について 資料-4

(株)KITABA

- ・ 資料4 について説明

角委員長

- ・ P71の(1)の表現が、座りが悪い気がするが、皆様どうか。(2)と(3)は割と具体的に表現されていて分かりやすいが、それらとのバランスが悪いのかもしれない。

森委員

- ・ 本質的価値の文章が明確になったことによって、P71の(1),(2),(3)と、P76の青丸の中の表現をもう少し整理できないのか、という欲が出てきた。
- ・ 本質的価値が、道路自体が日本初の西洋式車馬道、建物として残っているものでも最古、という部分が、最後の整備の部分で他の価値と横並びになっている点が気になる。
- ・ 何が一番大事で、それをサポートする価値が何で、だからこのように整備するというときに、もう少し、ブレークダウンしていけるような表現になると良いのではないかと思った。

角委員長

- ・ 伝えることはこういうことで良いのだと思うが、プッシュの仕方、表現の工夫かもしれない。

森委員

- ・ 石狩ということが、本質的価値にないのに、後ろで出てくることに違和感がある。

角委員長

- ・ 丁寧に説明することで、こうなったのだと思うが、石狩、という言葉に違和感が出てくるというのはあるかもしれない。歴史に詳しい人にはわかるのだと思うが。
- ・ 「石狩の地理的要素から」を抜いて、単純に、古くから交通の要衝であったということで良いのかもしれない。中にはきちんと説明があるので、タイトルには入れなくても良いのかもしれない。
- ・ 本日のご意見を踏まえて、事務局と委員長とで最終的に決めるということで良いか。

一同

- ・ 異議なし。

角委員長

- ・ 皆様のご協力で、計画がまとまった。
- ・ もし差支えな、えれば、これまで関わってきた皆様から、今後への要望や、感想なども含めてご意見をいただけたらと思う。

北広島市教育委員会

- ・ 今後の夢なども含めて、お知らせいただければと思う。

藤井委員

- ・ P39の構成要素だが、年を入れてほしいという要望をして、入れていただいた。これが年代順で記載されていると良い。古いものから新しいもので、設備などは下の方へ必然的にいき、わかりやすいのかと思う。
- ・ P29の年表と見比べればよりわかりやすいと思う。どの辺りまでそれがあったというのが明確に見やすくなるといいかと思った。そのようなものがあると、これからの作業にも有効かと思う。
- ・ 全体として、保存する対象と、活用・維持のために必要なことは、分けた方が良くと思う。

圓谷委員

- ・ P39の部分で、名称が入っていて、年代順にとあったが、それが地図上でわかると良いと思った。
- ・ 博物館では、裏側を見てもらうと来館者が喜ぶ。耐震補強の工事をしているなど、市民向けに対する解説をしながら見学できると、新聞でも取り上げてもらえると思うので、改修の中で、そういったことを盛り込んでいただけると良い。
- ・ そうすると今後、改修をしていく中で、より市民の皆さんに関心を持っていただけるのかと思う。地元の方に知ってもらうことが大切。

北広島市教育委員会

- ・ 30年の一度の貴重なチャンス、マニアの方から子どもたちまでそのような機会を持てればと思っている。

圓谷委員

- ・ 工事の様子を見ながら説明を聞くことで、何のためにこれをやるのかということが知れる。

森委員

- ・ 文化に優劣をつけるというのはどうかという話もあるが、今回整理しているように本質的価値と付加価値と優劣があり、本質的価値を伝えるためには、優劣をつける必要があって、P76の整備方針の○の部分、整備によって伝えたい価値が全部伝えたい、ということになっているが、今後整備する上で、何を優先するか選択する機会が出てくるかもしれない、その際は、優劣の表をもとにジャッジすることになると思う。
- ・ 本質的価値がこの文章となるならば、駅低所前のみちがもっとも大事だということになる。今回、史跡の中だけの話だが、日本初の西洋式馬車道なのであれば、その道自体も重要。ここで止まるのでは

なく、もう少しここから展開していくといったことが、今後あると良いと思った。

角委員長

- ・ 構成要素がものすごく多い史跡だと思う。
- ・ 本質的なものと、それをサポートするものを分けれるといいなと思う。これだけの要素があり、また、その後の積み重なっている歴史も価値・魅力であるので、今のお話については、今後になると思うが、整理できると良い。

森委員

- ・ 今後ということでももちろん良い。

北広島市教育委員会

- ・ 今後色々な形で、歴史的なもの、当時の背景を伝えていくことが求められる。駅通所前の道もかなり貴重なものなので、展示パネルやその他作成する資料を含めて、先生のご意見を参考にさせていただきたい。

森委員

- ・ パブコメでも、結構広いことをおっしゃっているなと思った。是非ここだけでなく、もっと広く繋がっていくことを期待されているのではないかなと思っている。

平井委員

- ・ この史跡は色々な要素があり、時々わからなくなることがあった。今後、展示などで説明用の資料をつくるのだと思うが、電子化などしていただき、この時期はこれがあった、次の時代にはこういったものが出来て、とか、時期ごとのレイヤーを用意しておいて、重ねてみたり、単独で見たりできるようにすると、分かりやすい。
- ・ 今の時代は技術的には簡単なもので、そうしていただけると良いのではないかな。

角委員長

- ・ 裏側を見せると同じで、構造を見せるレイヤーなどもあっていいかもしれない。ソフトとしては展開できることが色々あると思う。今後の見せ方の中で出来ると良い。

オブザーバー:赤井氏

- ・ 委員長はじめ、委員の方々に感謝する。専門的な検知からご議論いただいたということで、このような計画ができた。市教育委員会、業者のみなさまにも感謝する。
- ・ 今後基本設計など具体的な計画について動き出すが、引き続き委員の方々のお力をお借りしながら、進めたい。
- ・ 整備の工事の状況を見せるというのも、文化庁の整備の補助事業のメニューにあるので、そのような

ものも活用しながら、色々な方々に整備の状況を分かりやすく伝えていただければと思う。

角委員長

- ・ 今日表のまとめ方などご意見があったので、より分かりやすい形でまとめていただけたらと思う。
- ・ 各委員の方々にこの後も検討に関わっていただく。史跡は本当に要素が多く豊かで興味深い事例だと思うが、それをどんなふうに来場者に伝えるか。
- ・ 全道との駅通史と連携し駅通サミットのようなものを開催するなど、ここを拠点にもっと広がる取組になっていくと思う。
- ・ 今後の設計の中で色々な課題が出てくると思うので、即応できるよう、委員の皆様にもご対応いただくことがあるかもしれないが、ご協力いただきたい。
- ・ とても良い整備基本計画案が出来たと思うので、委員の皆様、関わった皆様にお礼申し上げたい。

北広島市教育委員会

- ・ 文言修正について、藤井委員などからいただいた内容などについて事務局にお任せいただく。
- ・ その他について、今回の委員会は最終回ということになるため、教育部長よりご挨拶を申し上げます。

北広島市教育委員会教育部長

- ・ 各委員の皆様には2年間にわたり、専門的な賢知の中で、ご検討いただいた。北海道教育員会、各課長、委託先の会社の方々にも感謝申し上げます。
- ・ この計画は今年度中に決定ということで、来週早々に教育委員会内部で確認、その後庁議に架けることになっている。
- ・ 明日審議会の定例会があり、そこで条例を改正し基本設計・実施設計の審議をすることになっている。
- ・ 委員の皆様には引き続きこれらの内容について審議いただきたいと思っている。
- ・ この2年間にわたり、思い付かないようなアイデアもたくさんいただき、市を代表して感謝を申し上げます。